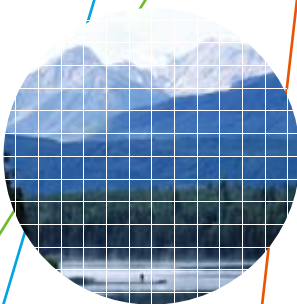


**Team
Shimano**

社会活動報告書

[活動期間 2012.1.1－12.31]



SHIMANO

Three circles are arranged vertically. The top circle is orange with a white grid pattern. The middle circle is blue with a white grid pattern. The bottom circle is green with a white grid pattern.

株式会社シマノ
代表取締役社長
島野 容三



企業価値の向上を目指して

—— ところ躍る製品を

当社の事業活動の基本は、「ところ躍る製品」を社会に提供することです。使いやすく、快適に走行できる自転車部品、テクノロジーと感性が融合した釣具に加え、ウェアやシューズなど、その楽しさをより広げる製品をお届けすること。そして自然とともに楽しむサイクリング、フィッシングの素晴らしさを伝えることで、お客様のライフスタイルをより豊かなものにしていきたいと考えています。

自転車部品事業

■ **ライダー達の期待を込めてシフトアップ「DURA-ACE」**
これまでにない軽さとエルゴノミクス、そして精密さ。2012年フルモデルチェンジを果たした「DURA-ACE」は、11スピード化したカセットスプロケットのみならず、体感できる個々のメカニカルな性能向上を果たしました。まさに圧倒的なパフォーマンスで、プロロードレーサーの勝つためのコンポーネンツとして、ライダーとともに勝利を目指します。



■ **ダウンヒルレースの最高コンボ「SAINT」**
マウンテンバイクのダウンヒルレース用トップコンポーネンツ「SAINT」が、2012年生まれ変わりました。その類い稀な耐久性と安定感、スピードコントロール性、そしてエルゴノミクスデザインの實力は、ワールドカップのダウンヒルレースでチャンピオンを創出するなど既に実証済みです。



■ **グッドデザイン・ベスト100受賞「ULTEGRA 6770」**
「ULTEGRA 6770」は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2012年「グッドデザイン賞」を受賞。さらに受賞した製品の中でも、よりデザイン性の高いものとして「グッドデザイン・ベスト100」という栄えある賞に選ばれました。



釣具事業

■ **ICASTで11年連続の受賞**
アメリカの業界向け釣具展示会「ICAST」において、G.Loomisの「NRXフライロッド」が、フライフィッシングロッドの部でニュープロダクト・ショーケースアワードを獲得しました。

フライフィッシングロッド賞



■ **EFTTEXの2カテゴリーで受賞**
欧州の釣具見本市「EFTTEX」にて「Vanquish」と「Power Pro Bite Motion」がそれぞれのカテゴリーで受賞しました。



ベスト・スピニングリール賞
[Vanquish]



ベスト・ブレイドライン賞
[Power Pro Bite Motion]

■ **ドイツの釣具展示会で金賞**
ドイツのカッセルで行われた釣具の展示会において、当社の2つのリール「Twinpower Saltwater」「Big Baitrunner XT-A Longcast」が金賞を受賞しました。



「Twinpower Saltwater」



「Big Baitrunner XT-A Longcast」

ボート事業

■ **ミュンヘンでのWorld Rowing Cupを制した「SRD」**
ドイツ代表のマルセル・ハッカー選手が、ワールドロウイングカップ第3戦ミュンヘン大会において、SRD（シマノ・ロウイング・ダイナミクス）を使用して優勝を果たしました。





新入社員を対象とした研修(シマノクンシャン：中国)



新入社員研修(日本)

研修制度

当社では組織を支えるひとづくりを世界中の拠点で進めています。当社の共通語である英語を中心とした語学研修をはじめ、各自の技術を高めるものづくりに関する専門的な研修など、選択できる内容は多岐にわたります。これらの研修を通じて、日々の業務で役立つ思考法や、専門知識の習得をサポートしています。

■ リーダーシップ研修

ヨーロッパ圏内には、お客様のニーズにお応えするため、各国に販売会社を設けています。それらを取りまとめているシマノヨーロッパは、2006年から毎年、次世代を担うリーダーを対象に、人材育成プログラムを実施。異文化の壁を超え、効果的にビジネスを進めるための姿勢、知識、スキルの向上を目的とするプログラムです。

新入社員研修

■ 経験・実践を重視

新たに加わった社員に対して、当社の歴史や企業理念を理解してもらう新入社員研修を行っています。チームシマノの一員として、全世界共通の理念のもと、考え、行動するために、講義に加え経験・実践を重視したカリキュラムを行っています。



シマノヨーロッパでのリーダーシップ研修



チームで行動する大切さを学ぶチームビルディング



現場で釣りの楽しさを知る体験



自社製品が生み出す楽しさを知る機会としての自転車実走



当社の基盤である、ものづくりの現場を学ぶ

グローバルな視点の育成

■ 目に見えない現場力の習得

当社では、広い経験を積むために、社員をSLD (Shimano Leadership Development)活動を通して、世界の販売店様に派遣しています。これは世界各地の自転車および釣具販売店様のご協力を得て、約3ヶ月間現場で働き、その体験を通じて、仕事やその土地の文化を学ぶプログラムです。2012年は、本社の社員のみならず、シマノマレーシア及びシマノシンガポールの社員を含む7名を派遣しました。

■ 技能実習生の受け入れ

本社では海外拠点から技能実習生を受け入れています。各担当部署での技術・知識の習得に加え、チームシマノ全体の仕事とモノの流れを学ぶ実習を年2回開催。販売の現場に出向き、自国で担当していた製品が店頭に並ぶ様子を見学するなど、世界に広がるチームシマノの一員としての役割を自覚する機会を設けています。

■ 語学教育の推進

チームシマノの中で、日本語が話せる社員は、約1割。コミュニケーションを行う上で、外国語を必要とする場面が多く、業務に必要な語学を日本だけでなく各拠点でも行っています。当社では共通語となる英語をはじめ、中国語研修などを行っています。



シマノカンボジアでの英語研修
'12年スタート

■ 組織の健全かつ効率的な運営のために

内部統制システムの充実を目的として、2007年に内部統制推進室を立ち上げました。現在の業務内容は、主に、「金融商品取引法」に基づく財務報告に係る内部統制の有効性の評価と、その他業務活動に係る内部監査です。業務活動に係る内部監査に関しては、実地棚卸監査や、固定資産管理監査のほか、2つの部署間でお互いに監査し合う「クロスチェック」の手法を2011年より採用しています。2年目を迎えた2012年は、10部署5組で監査を行いました。類似性、近接性のある部署同士をペアとすることにより踏み込んだ内容の監査ができ、参加部署からは自部署の業務改善の参考になったとの感想も得られました。監査手順、コンプライアンスチェックリストなどの監査ツールを用意して一定の監査品質の維持にも努めています。



本社において、震度6以上の地震発生を想定し、防災避難訓練を行いました。また、大津波を想定した「大津波警報発令時の避難ルート」を策定し、社員に周知徹底を図りました。また現在、建て替えを進めている本社工場では(2012年秋に第一期工事が完了)、免震・耐震構造を備えています。



アメリカの自転車販売店様にて



「クロスチェック」手法のポイント

- ・類似性、近接性のある部署同士でペアを組む
- ・業務改善についての意見交換を効果的に行うことができる
- ・監査される側として、改善指摘に真摯に対応するとともに、監査する側として、他部署で実施しているリスク対応や管理方法を学び、自部署に反映することができる



本社工場地下に設置された免震システム

シマノフェスタ(ブラジル)



シマノジャパンカップ
2012(日本)

遊びの高揚

—— 人々に楽しみと遊びを提供する

こころ躍る製品を通じて、自転車、釣りの楽しさをより多くの人々に広げること、当社の重要な活動のひとつです。
トップアスリート、プレイヤーの最高のパフォーマンスを目の当たりにできるイベント。ビギナーの方にわかりやすく、
安全な楽しみ方を理解していただくための講習会。日本国内はもちろんのこと、世界各地で様々な取り組みを展開しています。



自転車博物館外観

アクセス：JR阪和線「百舌鳥」駅から徒歩10分
〒590-0801 大阪府堺市堺区大仙中町18-2 Phone:072-243-3196



2012 シマノマカオ磯釣り大会(マカオ)

自転車博物館 サイクルセンター

日本 '92年スタート

本社と同じ堺市に1992年に開館した自転車博物館サイクルセンター(運営：公益財団法人シマノ・サイクル開発センター)は、おかげさまで20周年を迎えました。国内で唯一の自転車専門の登録博物館として、自転車が発明された1818年のドライジーネ(レプリカ)からオリンピック出場ロードレーサーまで、約300台を保有。自転車の展示だけでなく、自転車のあるライフスタイルを提案するための各種イベントや講習など、様々な活動を行っています。

様々なサイクリングイベントを開催 '97年スタート

■ 自転車散歩

初心者を対象にしたイベントで、10kmほどをゆっくりと時間を掛けて走ります。自転車を使ての楽しみ方を知っていただく入口です。

■ 健康サイクリング

スポーツ車で、健康維持・増進を目指し、約30kmを走るイベントです。スポーツとしてのサイクリングを体験していただけます。

■ 女子ボタリング

グルメ・カルチャー・ビューティアップをキーワードに、ビギナーからこだわり派までが楽しめる、女性限定のサイクルイベントです。



健康サイクリング



女子ボタリング

体験・講座・スクールの開講

■ 大人のための自転車ライフ体験セミナー

自転車のメンテナンスとパンク修理の体験、ロードバイクとマウンテンバイクのセミナー&ツーリング、手作り輪行袋教室など大人が楽しめる体験セミナーです。

■ メタボ予防改善コース

自転車での運動に加え、食事内容を見直すことで、効果的に健康の維持・向上を図る3ヶ月間プログラム。メタボ予防という目的だけでなく、サイクリングを通して人生を楽しく豊かに過ごしていただくことを目指します。



大人のための
自転車ライフ体験セミナー



メタボ予防改善コース

子ども向けイベント

■ 手作りおもちゃ教室

毎回各ジャンルの先生をお迎えし、おもちゃ作りを通して、親子の交流の場を提供しています。

■ 夏休み絵画コンクール

未来を担う子どもたちに、身近な自転車を主題に、観察眼や創造力を養ってもらうためのイベントです。



手づくりおもちゃ教室



夏休み絵画コンクール

■ 自転車交通安全教室

毎年春と秋に、自転車乗り方教室の卒業生や地元の方たちを対象に、大阪府警察本部と堺の警察署の協力を得て実施しています。

■ 自転車乗り方教室(初心者スクール)

自転車に乗れない方々を、ビデオと実地指導によって、補助輪なしで乗れるようお手伝いする初心者のためのスクールを開催しています。一年を通して毎週土曜日と第1,3,5日曜日に行われ、2012年は72回開催しました。当社からも毎回サポートメンバーを派遣しています。



自転車交通安全教室



自転車乗り方教室

※詳しくは、自転車博物館ウェブサイトをご覧ください。

ライフ・クリエーション・スペース OVE (オーブ)



'06年スタート

OVEは、ゆったりと、豊かな自転車ライフを送っていただくため、新しい自転車文化の発信基地として、活動しています。東京・南青山が2006年にオープンして以来、多くのお客様にご利用いただき、おかげさまでOVEの認知度も高まってきました。そのような状況の中、さらに広く自転車文化を伝えることを目的とし、2012年11月28日、大阪・中之島にも新たにオープンいたしました。大阪の中心地であり、伝統と文化、そして芸術を継承する華やぎのある大人の街中之島から、上質で魅力的な自転車のあるライフスタイルを提案します。



ライブラリーには自転車に関する雑誌や絵本など約300冊の蔵書を取り揃えてあり、自由に手に取ってくつろぎの時間を過ごしていただけます (OVE中之島)

OVE

OVE南青山

アクセス：東京メトロ銀座線・半蔵門線「表参道」駅
または「外苑前」駅から徒歩8分

〒107-0062 東京都港区南青山3-4-8 トレディカーサ1階
Phone：03-5785-0403

OVE中之島

アクセス：地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅・京阪中之島線「渡辺橋」駅から直結
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-3-18
中之島フェスティバルタワー フェスティバルプラザ1F
Phone：06-6223-2626



ミュージックライブや落語などの様々な文化にも触れることができる空間 (OVE南青山)



大阪・中之島に2012年秋
オープンしたOVE中之島

フィッシング・カフェ プロジェクト&シマノTV



'00年スタート

■ フィッシング・カフェ プロジェクト
長年釣りに親しんできた人から、これから釣りを始めてみようという人まで、すべての釣り人が気ままに交流し、新しい釣り文化を創造していく「フィッシング・カフェ プロジェクト」。春・夏・冬と年3回発行される雑誌と、スカイパーフェクTV・BS釣りビジョンで放送されるテレビ番組、最新情報をお届けするウェブサイトを通じて、釣りをめぐる様々な話題や情報を発信しています。



'12年スタート

■ Facebook — 釣りにつながるみんなのコミュニティ
2012年は新たな取り組みとしてフェイスブックシマノ公式ページに「Shimano Fishing」を開設。インストラクター達による書き込みをはじめ、製品情報、イベント情報などフィッシングシーンをサポートする内容をリアルタイムで掲載しています。フィッシングライフをより豊かにするためのコミュニティの場として、誰もが気軽に参加していただけます。



Facebookシマノ公式ページ「Shimano Fishing」
<https://www.facebook.com/fishing.shimano>

'07年スタート

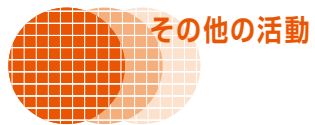
■ シマノTV
ウェブコンテンツとして24時間365日楽しめる、世界規模のフィッシングチャンネル「シマノTV」。TVで放送された人気の釣り番組はもちろん、ジャパンカップなど当社主催の多彩なイベント映像、インストラクターによるデモンストレーション映像、その他ここでしか視聴できない希少映像を配信。さらにこれから釣りをはじめたいと思っている初心者のためのコンテンツも加わって、内容がより充実。ビギナーからベテランまでお楽しみいただけます。またスマートフォンによる閲覧が可能で、Twitterなどソーシャルネットワークでも共有できます。さまざまなメディアを通じて、これからも釣りの魅力を世界中へ発信していきます。

フィッシングチャンネル「シマノTV」
<http://tv.shimano.co.jp/>



「シマノTV」のためだけに撮影された完全オリジナル番組
「いつでも釣り気分！」を随時配信





イベントの主催・協賛

世界各地で自転車や釣りのイベントを開催し、また協賛しています。

日本をはじめとするアジア各地や、新興国ブラジルにおいても自転車や釣りの楽しみ方を提供し、除々に広がりを見せています。

■ 自転車イベント(主催)

-  (日本)
① シマノ鈴鹿ロードレース
'84年スタート
-  (日本)
② シマノバイクーズフェスティバル
'91年スタート
-  (中国)
③ バイクーズフェスティバル
'03年スタート
-  (中国)
④ シマノカップ
'09年スタート
-  (アルゼンチン)
⑤ OPEN SHIMANO
'08年スタート
-  (アルゼンチン)
⑥ シマノショートトラック
'09年スタート ※'11年より、ブラジル・アルゼンチン・チリ
コロンビア・パナマ・コスタリカ・メキシコの7ヶ国で開催
-  (インドネシア)
⑦ ファンバイク
'07年スタート
-  (ブラジル)
⑧ Pedal des Capivaras-SHIMANO
'11年スタート



■ 自転車・釣り複合イベント(主催)



 シマノフェスタ (ブラジル)
'10年スタート

■ 自転車イベント(協賛)



 Shop-in-shop 主催イベントへの協賛 (中国)
'03年スタート

 黄山国際 Mountain Race (中国)
'11年スタート

■ 釣りイベント(主催)

-  (日本)
① シマノジャパンカップ
'84年スタート
-  (韓国)
② シマノカップ韓国ヘラ釣り大会
'07年スタート
-  (中国)
③ シマノ杯ヘラ釣り大会
'02年スタート
-  (台湾)
④ シマノ台湾キャスティング教室
'05年スタート
-  (香港)
⑤ シマノ鱗海カップ
'02年スタート
-  (インドネシア)
⑥ ファンフィッシング
'07年スタート



 **UCIパートナーシップ**
UCI (国際自転車競技連合) にオフィシャルパートナーとして協賛し、世界の自転車競技、サイクルスポーツ文化を支援しています。
'99年スタート



 **レーシングチーム**
国内のプロサイクルロードレースチーム「シマノレーシング」や本場ヨーロッパの「アルゴス・シマノ」を通じて、アジアの若い選手を育て、世界のトップレベルのレースへ挑戦する機会を作っています。
'73年スタート



世界中でサポートを行う
シマノのテクニカルサポート

 **テクニカルサポートの派遣**
トップレベルのプロレースだけでなく、幅広いサイクルスポーツイベントにサポートカーとスタッフを派遣。参加者の皆様に安全に楽しんでいただくことを第一にテクニカルサポートを行っています。

アルゴス・シマノ所属のジ・チェン選手が世界3大ツールに中国人として初参戦し完走。敢闘賞を獲得しました



利用環境の改善と保全

—— 自然環境、生活環境、製品利用環境の改善と保全への協力

アウトドア・スポーツを楽しむためのフィールドである地球環境を保全するためにたゆまぬ努力を続けることは、当社の基本的な命題です。製品をつくる過程において環境負荷を抑えるため、技術改良・革新に日々取り組むとともに、フィールドの清掃や環境改善活動へも積極的に参加しています。



当社では、製造工程においてもエコロジカルであり、環境負荷の低い製品づくりを行うための指針として「シマノグリーンプラン（以下SGP）」を策定し、その順守に力を注いでいます。

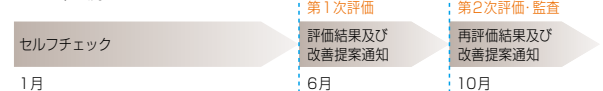


SGP第8版の経過 — 評価結果とSGP監査 —

- ・取引先様と当社間のSGP管理に関する理解のギャップを無くし、SGP順守レベルの向上を図る。
- ・SGPに関する業務プロセスを見直し、取引先様、当社双方の業務効率化を図る。

2012年は、上記の目的を遂行するために、日本国内の取引先様約700社を対象に15項目のセルフチェックを行って頂きました。それを元に、当社で第1次評価を行い、A～D（Aが最高ランク）のランクを付け、評価結果及び改善提案をお知らせしました。その中でも評価が、BCDの取引先様には、評価結果に対する見解または改善計画の提出をして頂き、それをもとに第2次評価をし、再評価結果及び改善提案通知を当社から行いました。その結果Dランクの取引先様が9%から3%に減少しました。さらに、CDランク内の特別管理対象取引先様8社を対象に監査を行い、現場においての直接的な改善提案を行いました。

2012年の流れ



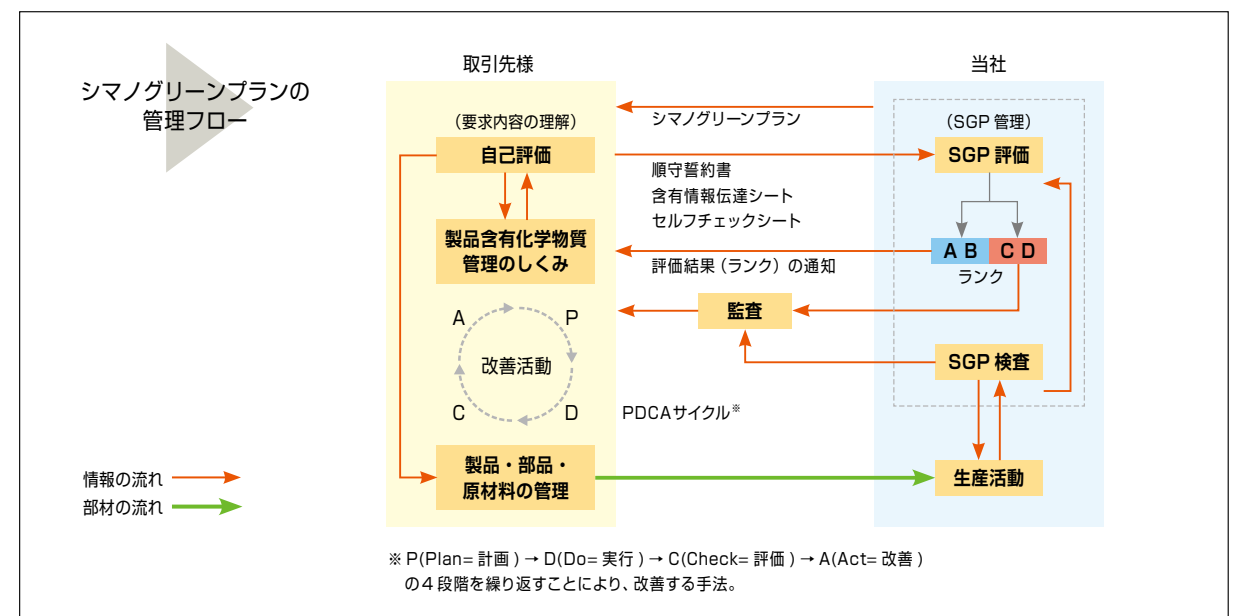
グローバルに展開するSGP

各海外工場や海外販社を拠点として、約1,000社の取引先の順守誓約と管理状況の評価を行いました。第8版発行にあたってセルフチェックシートの改善を行いました。その成果として、評価の標準化により各拠点での評価が効率よく実施されました。工場による評価のギャップを無くし、評価基準を統一するために、各工場の担当者を集めたグローバルミーティングを行い、共通の視点で監査方法などを確認しました。

今後は海外の共通取引先様対象の監査や、工場間の相互監査を計画実施していき、多視点相互的な改善効果によるリスク低減を進めていきたいと思っています。



シマノクンシャン（中国）では禁止物質を含まない製品の生産を目指し、SGPを実行し始めて今年で8年目。品質管理部門では当社製品に禁止物質が含まれていないことを保証するために、専門機器を使用して入念に検査しています。



大和川クリーンアップ '01年スタート

当社では、大和川再生協議会が主催する清掃活動に、社員がボランティアとして協力しています。2012年3月4日の「大和川クリーンアップキャンペーン」では、162名の社員が参加しました。



● ヨシの有効利用

当社が発行する一部冊子や名刺にはヨシの繊維を混ぜた用紙を使用しています。ヨシを植え付け、刈り取り、この紙を使用するサイクルをつくることで、環境負荷低減をめざしています。（本冊子は琵琶湖のヨシを混抄したレイクパピルスを使用しています。）



● せんなん里海公園の清掃活動 '02年スタート

発生源からゴミを減らし海洋汚染を改善する「国際ビーチ・クリーンアップ・キャンペーン」に準じた清掃活動をせんなん里海公園（大阪）で行いました。当社からは158名が参加しました。

● ミリオンツリープロジェクト '09年スタート

シマノクンشان(中国)、シマノテンシン(中国)の社員が、2014年までにモンゴル砂漠地帯に100万本の木を植える「ミリオンツリープロジェクト」に参加しています。2012年もシマノとして4,000本の木を寄贈。若木の生長を願い、積極的に育成作業に参加しています。



● 環境教育への協力 '06年スタート

本社所在地である大阪府堺市の小学校を訪問し、牛乳パックをリサイクルした紙漉きの授業を行っています。大和川の清掃活動も含め、これら一連の活動によって幼少期からの環境教育をサポートしています。



● ビーチ・クリーンアップ '03年スタート

シマノアメリカンの社員による毎年恒例のビーチ・クリーンアップが9月15日に行われました。2012年は、ドヘニスビーチのダナポイント周辺を清掃しました。



● アースデイ活動 '11年スタート

4月22日のアースデイを記念して、パールイズミUSAの社員が、コロラドテクノロジーセンター内の近隣の企業と共に、クリーンアップイベントを開催しました。約100名が"Run-Ride-Reuse-Recycle"と書かれたお揃いのグリーンTシャツを着て、近隣地域を清掃しました。



● シマノ・クリーンアップ・プロジェクト '03年スタート

「愛すべき私たちのフィールドのためにできること」を合言葉に、釣り場をきれいにするプロジェクトを実施しています。当社主催のイベント参加者の皆様に賛同いただき、ともに清掃活動に取り組んでいます。



● 工場周辺の清掃活動 '11年スタート

シマノテンシン(中国)の社員が参加し、地球環境を守るために、工場および周辺道路の清掃を行っています。



環境負荷低減への取り組み

ウォータートリートメント '97年スタート

シマノクンشان(中国)では水資源を保護するために、工場排水の浄化施設を備えています。



省エネ対策

下関工場では週に一度、部署別に省エネのためのパトロールを行い、ムダの抽出と改善策の実施に取り組みました。「組立コンプレッサーの自動発停による台数制御」「工場天井ファンの運転台数制限」「照明の間引き点灯」などの改善活動を積み重ね、年間でCO₂排出量を計384.8t削減。電力使用量585,761kWhの削減を達成しました。



騒音監視 '99年スタート

シマノクンشان(中国)工場周辺の住宅地域における騒音による影響を抑え、さらに職場環境の向上を目指すために、工場内の騒音を監視するシステムを構築しています。



環境に配慮した新工場の建設

2014年秋を完成目標として、当社は、2011年より大阪府堺市の本社工場の建て替えを行っております。2012年秋に第1期工事を終えた時点で、建築環境総合性能評価システムCasbeeで、5段階のランクのうち最高ランクであるSの評価を頂きました。その中でも重点項目とされる「みどり・ヒートアイランド対策」及び「安全快適な暮らし」という点で、高評価を受けました。Casbeeとは、建築環境総合性能評価システムのひとつで、国土交通省の支援のもと産官学の共同により開発され、どれだけ環境に配慮した建築物であるかを評価・格付けする全国共通の「ものさし」です。



新工場外観



エコポッド(中庭)を利用した換気システム

社員への自転車通勤促進

BIKE TO WORK '98年スタート

シマノアメリカンでは全米で実施される自転車通勤週間にあわせ、「BIKE TO WORK」イベントで一層の自転車通勤を社員に呼びかけています。



エコ通勤優良事業所 '09年スタート

本社が実施している自転車通勤推進の取り組みは、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団から「エコ通勤優良事業所」として認定されています。この認定に基づく取り組み目標として、当社ではマイカー通勤によるCO₂排出量を対2010年比(2年間目標値継続のため)で毎年1%ずつ減らすことを計画に盛り込んでいます。2012年は、目標値6,608kg削減に対し、約5倍の35,463kg削減を達成することができました。2013年も引き続き、環境負荷低減活動に積極的に取り組みたいと考えています。



自転車通勤者用の駐輪施設

Global ゴミの分別収集 '99年スタート

ISO14001に準拠し1999年から実施しています。事業所、工場においてゴミを分別収集し、可能な限りリサイクルを行っています。





信頼の構築

—— 地域社会に企業市民として参加し協働する

地域社会とのコミュニケーションを密にし、企業市民として共存・共栄を図ることは、当社の理想とする企業姿勢です。
日本はもとより、世界各地に拠点を置く地域社会の一員として、地域と一体となって取り組める活動を積極的に行っています。



こども達と学び考える

小学校でのキャリア教育

'05 年スタート

こども達が社会の一員として様々な問題に取り組み、生きるための力を育てることを目的とするキャリア教育。当社では2005年から、地元の小学校で特別講師を務めるなどの協力を実施しています。授業では自転車をテーマとした課題を設定し、企画立案から提案までをグループ単位で実習。課題解決の過程で、物事を論理的に考える力、判断材料を集める行動力、わかりやすく提案する能力、協力して働く力を身につけます。



安全で楽しい自転車利用を目指す

ワイラースクールへの講師派遣

'08 年スタート

ワイラースクールとは、こどもの自転車の操作技術の向上、楽しく快適にサイクリススポーツを楽しめる環境整備、そして競技人口拡大と世界に通用するサイクリストの育成を目的とした教室です。活動範囲は全国にわたり、2012年は、約50の会場で、2,000人をはるかに越えるこども達を対象に行われました。この教室に、自転車のテクニックや交通マナーを指導する講師として、シマノレーシングのメンバーを派遣しています。

サイクルアカデミーの開催

'05 年スタート

自転車ファンの底辺拡大を目指し、初心者や中級者、あるいはこども達に、ロードレーサー基本的なノウハウや乗り方をレクチャーする活動です。シマノレーシングチームの現役メンバーが指導しています。



ぬり絵コンクールなどの活動を行う
チャリティウォークソン(マレーシア)



ワイラースクール(日本)



企業市民として

シンガポール共和国名誉総領事館の業務 ^{'11}年スタート

2011年にシンガポール共和国名誉総領事館-大阪を本社ビル2階に開館しました。社長の島野容三が同国政府より任命を受け、シンガポール共和国名誉総領事に就任しました。当社は1973年に初めての海外生産拠点としてシマノシンガポールを設立し、現在においても海外のマザー工場として重要な役割を果たしています。これまで様々なかたちでお世話になりましたシンガポールに深く感謝し、当社としてできる恩返しをしていきたいと考えています。



本社ビル(大阪府堺市)
2階にある大阪名誉総領事館



大阪名誉総領事館内部

義援活動

児童養護施設への寄付 ^{'07}年スタート

シマノバタム(インドネシア)では、6つの児童養護施設に対して6,971万7,000ルピア(約67万円相当)の寄付を行うとともに、衣類、即席麺、砂糖、茶、牛乳や軽食を提供しました。

福祉施設への寄付 ^{'12}年スタート

シマノカンボジアでは、児童養護施設、職業訓練所、またHIV患者らに対して、教育ツールや食料、医薬品など合計1,000ドルの寄付を行いました。

東日本復興支援サイクリングに協力 ^{'12}年スタート

一般社団法人自転車協会主催の東日本の復興支援を目的としたサイクリング「CYCLE AID JAPAN 2012」に、当社からは延べ262名の社員が参加、またテクニカルサポートとして大会へ協力しました。参加費の一部が義援金に役立てられます。



子ども達の夢を叶える財団への寄付

シマノヨーロッパ(オランダ)は、「難病と闘う子どもが持つ夢の実現をサポートすること」を目的とするメイク・ア・ウィッシュ財団のオランダ支部に、5万ユーロを寄付しました。この財団は世界最大のボランティア団体で、1989年以来、4,000人を超える子ども達の夢を叶えてきました。子ども達が夢の実現に向かっていくことで、病気と闘う勇気や生きようとする力を得て欲しい、という願いが込められています。

シマノチェコの義援活動

■ 地元の関係官庁への寄付 ^{'08}年スタート
地元の私設消防団、市警察などの関係官庁に対し、装備の充実や育成に役立ててもらおう、寄付を行っています。

■ 献血センターへの寄付 ^{'12}年スタート
献血活動に関わる支援として、献血センターに寄付を行いました。

■ アニマルセラピーへの支援 ^{'12}年スタート
自閉症や運動障がいのある児童のために働けるよう、馬に対して特別なトレーニングを行うための寄付を行いました。

■ 養護学校への支援 ^{'12}年スタート
障がいを持つ子ども達の知育玩具や学用品の購入に役立てていただくための寄付を行いました。

■ ドッグシェルターへの支援
ドッグシェルターに保護されている犬のために、ドッグフードやブランケット、おもちゃなどを寄付しました。



献血活動

献血の推進 ^{'96}年スタート

シマノバタム(インドネシア)で、3回の献血を行い、延べ268名が協力しました。

献血運動の実施 ^{'95}年スタート

シマノシンガポールでは、社内で献血運動を推進するグループを作り、シンガポール赤十字社に、40袋分の献血を行いました。



その他の活動

自転車のまちづくり支援

'99年スタート

堺自転車のまちづくり・市民の会の開催するサイクリングマップの配布や、無料点検を行うイベント「さかい自転車デー」などの活動を支援しました。自転車のまち堺としての、計画策定などにも協力しています。

子ども達への交通安全啓発活動を支援

シマノチェコでは、自転車に乗る子ども達に路上での安全への意識を高め、交通ルールに則った行動を教えるために、教則絵本の出版や講習会の開催を支援しました。

シマノラテンアメリカ(ブラジル)の活動

■ MTB/BMX用バイシクルパークの設置 '11年スタート
大都市サンパウロの中心にあり、地域交流の場にもなっているバイシクルパーク。イベントの開催や施設スタッフのために支援を行いました。

学校での自転車教育

'12年スタート

シマノラテンアメリカのテクニカルスタッフが、「スクールバイシクルプロジェクト」の活動として、学生を対象に、通学で使用する竹の自転車フレームに、内装変速機を組み付ける講習を行いました。

自転車の普及を支援

'12年スタート

子ども達への自転車教習や自転車の仕組みの基本的理解を深める活動、ブエノスアイレスのレンタサイクルのメカニックサポートを行いました。

養老院への訪問

'09年スタート

シマノクンシャン(中国)の社員は年長者への敬意を表し、春節と重陽節に養老院を訪れました。

子どもの成長を願った福祉活動

'12年スタート

シマノテンシン(中国)の社員が、福祉施設「SOS子どもの村」を訪れ、日用品を贈呈しました。



中国書道を学んでいる子ども達を励ます
シマノテンシンの社員

チャリティーウォークソン

地元の血液透析センターへの募金集めのためにチャリティーウォークを行いました。この活動に、シマノマレーシアの社員とその家族および関係者約200名が参加し、ほかに居住地区の清掃、募金活動、こどもぬり絵コンクール、抽選大会なども行いました。

シマノシンガポールの活動

■ 「釣りを通じて、家族の絆を深めよう」プログラム '12年スタート
シマノシンガポールの社員が、釣りを通じて学生達とその家族との絆を深め、さらに若い人達に釣りの楽しさを伝えるプログラムを行いました。

スポーツ教育指導プログラムのサポート

'11年スタート

シュカン中学校の教師に自転車のテクニカルワークショップを行いました。自転車整備に関する基本的な技能と自転車安全の知識を持つSTAMP(スポーツ教育指導プログラム)活動を行う教員を育て、生徒への指導を広めていきます。

自転車文化を広めるプログラム

'11年スタート

ジュロン中学校で、自転車の基礎的メンテナンスや安全なサイクリングの講習などを行うStriveプログラムを継続しています。2年目は通常の講座形式の代わりに、より多くの視覚教材を使用した実践的な内容で行われました。

自転車の点検およびテクニカルサポート

'12年スタート

シンガポールでは、毎年約50,000名の生徒が交通警察の道路安全公園を訪れ、交通ルール、安全な自転車の乗り方、道路使用者の安全対策など多くのことを学びます。生徒達に役立ててもらえるよう130台の自転車を点検し、テクニカルサポートサービスを行いました。

若者の自転車ライドを支援

'12年スタート

健康的なライフスタイルの促進と安全なサイクリングへの意識向上を目指し、若者が参加する自転車ライドをブンゴル水路で開催しました。



社会活動報告書を読んで

2012年、海外事業を主とする株式会社シマノは為替の円高をはじめとする様々な厳しい状況の中で、中核事業の自転車部品、釣具共に業績を伸ばし、新興国でも拡大基調にある。トップのメッセージにある「日本発の開発型製造業」を基本として誠実に顧客と向き合い、“こころ躍る製品”を提供した成果であろう。バージョンアップしたCSR(企業社会責任)は単なる社会貢献や評判の向上ではなく、本業に統合されたプロアクティブなものに進化している。

報告書は従来の4部構成を継続した。ビジネスにおける「企業価値の向上」の原点である製品事業では、ユーザーと共に創発するイノベーションやインタープリテーション(顧客による新解釈)による新製品が楽しさの価値となって伝わってくる。より軽快に走行できるエルゴノミクスの11スピード化「DURA-ACE」、トップコンボの「SAINT」などはライダー達と共に実現させた製品であろう。釣具のロッドなどユーザーとの共創によってつくられ、いくつもの世界的プライズの受賞につながったものとして称賛に値する。それらが人材を惹きつけ、社員としてのブランド・ミッションを共有することにもなる。「シマノを支える人づくり」では全世界で理念を共有、共通語としての英語の語学研修、現場力の実習など次世代育成に積極的である。特に英語の社内共有化では日本企業の中でも先駆的役割を果たしてきた。内部統制の強化について、「クロスチェック」手法の導入は評価できる。他部署とペアを組んで、意見交換することで現場感覚のある有効な改善策を見つけやすい。また「地震発生に備えて」では、津波の避難訓練や建物の耐震・免震構造化について対策が進められているのはよい。だがBCP(事業継続計画)について触れてほしかった。すでに国際標準化機構がISO22301としてBCPを規格化している。南海トラフの巨大地震が切迫していると懸念され、さらに東アジア全域で大きな災害が続発している。防災と事業継続への備えは国境を越えて進めなければならない。

シマノは製品だけでなく早くから体験の場を提供することで、「遊びの高揚」を図ってきた。例えば20年になる自転車博物館、サイクリングや子供向けの各種イベント、自転車乗り方教室などの講習会である。特に最近、都市部では健康志向から自転車利用者が増え、一方事故も増加、公的講習を義務付ける動きもある。シマノは民間の立場で、各種の安全講習や実地指導の場を今まで以上に展開してもらいたい。釣りについては、フィッシング・カフェプロジェクトやシマノTV、フェイスブックなどメディアミックスでの情報発信が世界規模で効果をあげているのではないか。海外各地での自転車や釣りのフェスティバル・イベントで参加者の笑顔の写真が印象的である。

自然環境のシマノグリーンブラン(SGP)第8版の評価結果と監査のポイントがフローの図で開示され、理解しやすい。国内700社と海外約1,000社の取引先にセルフチェックシートの改善を行い、評価ギャップをなくすための評価基準や監査方法についてミーティングを開きながら、“多視点相互的な改善効果によるリスク低減”を進める姿勢は評価できる。さらにCO2ランク0%を目指してもらいたい。また大和川の清掃、せんなん里海公園、堺の小学校での環境教育や、米国、中国での同様の活動もぜひ継続してもらいたい。2014年完成目標の本社工場建て替えですでにCasbee(建築環境総合性能評価システム)最高ランクのS評価を得たことは素晴らしい。自転車通勤推進の取り組みで公的機関から、「エコ通勤優良事業所」に認定され、二酸化炭素排出量削減の活動で目標値の5倍の成果をあげたことも驚きである。

シマノのCSRに一貫するものは、コーポレートシチズンシップ(企業市民意識)ではないか。海外の最初の生産拠点でマザー工場のあるシンガポール共和国の名誉総領事館が本社ビル2階に開館したという。長期にわたる民間企業の「信頼の構築」が公的外交のステータスとなった好例として高く評価される。日本、アジア諸国での児童向け養護施設や教育、訓練の機会や場づくりは国境を超えた将来世代への貢献である。

最近米国のジム・ステンゲル(Jim Stengel)の著書『GROW』が注目されている。そこにはプラットフォームの力は理念(Ideal)が重要で、たとえば「なぜそれが大切か、なぜ人々の生活を変えるのか」を自問することで生まれる、と説いている。シマノがこれからも基本理念による開発型製造業をベースに、「場力(ばちから)」を発揮し、本業と一体化したCSRで価値創造されることを期待したい。

千葉商科大学/大学院教授 (社)日本経営管理学会代表理事・副会長

藤江 俊彦

チームシマノ基本理念

本当によいものを世界の人々にお届けしたい――。
それは創業者から受け継がれてきた私たちシマノの基本的な願いです。
そして世界各国のスタッフから成るチームシマノは、
共通の理念のもと、共通の目的と共通のプロセスで活動を展開しています。

会社の使命

人と自然のふれあいの中で、
新しい価値を創造し、
健康とよろこびに貢献する。

[経営の方針]

- お客様に信頼され、満足していただけるサービスと製品を提供する。
- 企業価値を高め、開かれた経営を約束する。
- 達成感と、よろこびを分かち合える、
公正でいきいきとした職場づくりに努める。
- 社会の一員として環境を大切に、共に繁栄することを目指す。

[チームシマノの行動指針]

- 豊かな創造性をはぐくみ、たえず自己を啓発する。
- つねに技術の向上に努め、夢の実現に挑戦する。
- 大きく発想し、機敏な行動で着実に実行する。



株式会社シマノ

〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

広報部 広報課

Phone: 072-223-3957

Fax : 072-223-6045

2013年3月15日発行 ©2013 by SHIMANO INC. Printed in Japan XBC IZM K-018